

がんの放射線治療

第32回KEKコロキウム

がんの歐米化に伴って、放射線治療の意義が増している。放射線治療のメリットとこれを支える技術的進歩を解説する。

また、放射線治療を推進する市民活動を紹介する。

講演者：中川 恵一

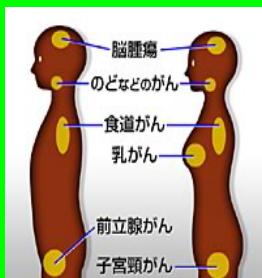
東大病院放射線科助教授、緩和ケア診療部長

日 時：平成19年2月2日（金）18:00

場 所：4号館セミナーホール ~19:30



使用言語：日本語



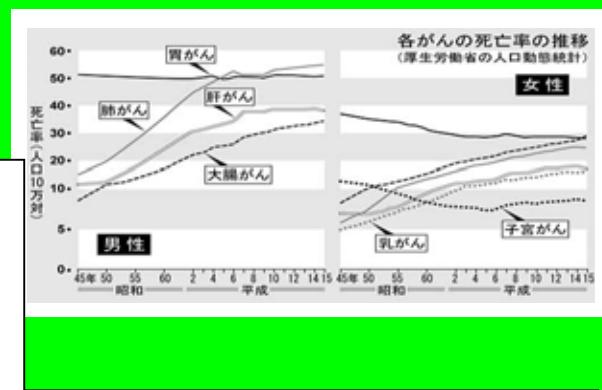
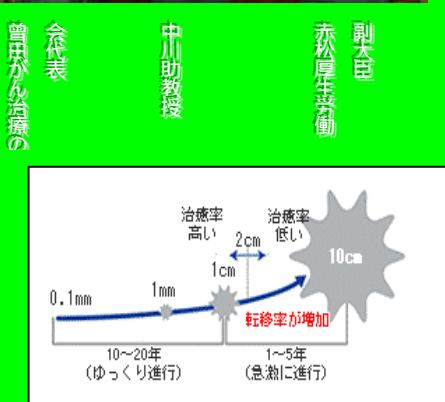
放射線がん治療発展報告書



2006.5.22

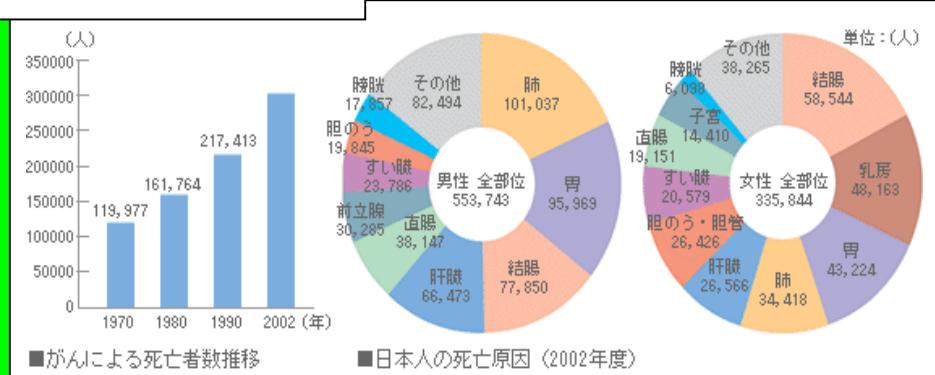
がんの高精度放射線治療が専門。英文 論文などによる学術発表の他、患者/一般向けの啓蒙活動にも力を入れている。著作には、「放射線をかけると言わいたら」「緩和医療のすゝめ」「放射線治療と EBM」(近著)など。最近はテレビなどによる啓蒙活動にも熱心。「ひにやさしい放射線治療」がモットー

	日本	米国
放射線治療医	450	5,000
放射線治療品質管理士	355	5,000
治療施設	700	2,400
ライナック	900	3,300
年間新患数	150,000	600,000



治療別の平均合計金額(円)	
下咽頭がん	放射線治療 2,555,070
	手術+放射線治療 3,723,000
	手術 4,946,550
肺腫瘍	定位放射線治療 671,751
	胸腔鏡下肺切除術 1,527,986
	開胸手術 1,477,377
前立腺がん	放射線治療 666,700
	手術 1,625,350

(中川恵一助教授まとめ)



RADIATION THERAPY FOR CANCERS

THE 32th KEKCOLLOQUIUM

According to the westernization of cancer in this country, the presence of radiation therapy is increasing. Advantages of this treatment and technological innovations which support its evolution will be focused. Several civic movements to promote it will be also introduced.

Speaker: KEIICHI NAKAGAWA

Department of Radiology, University of Tokyo Hospital

Date : 2 January 2007(Friday)

Time : 6:00pm–7:30pm

Location : Seminar Hall in Building No.4

Language : Japanese

